

EMP-765
EMP-755

EasyMP™

ネットワーク設定ガイド

お使いになる前に

本製品を安全に正しくお使いいただくために、このマニュアルをよくお読みください。不明な点をいつでも解決できるように、その後はすぐに見られる場所に大切に保存してください。



説明書中の表示の意味

安全に関する表示

取扱説明書および製品には、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、絵表示が使われています。その表示と意味は次のとおりです。内容をよくご理解いただいた上で本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

 注意	プロジェクターの故障や損傷の原因になるおそれがある内容を示しています。
 ポイント	関連する情報や知っておくと便利な情報を記載しています。
	関連事項や、より詳しい説明を記載しているページを示しています。
	マークの前のアンダーラインの引かれた用語は、用語解説で説明しています。「付録 用語解説」をご覧ください。● p.51
操作	操作方法や作業の順番を示しています。 番号順に操作して目的の作業を行ってください。
〔(表記名)〕	操作パネルまたはリモコンのボタン、プロジェクターの入出力端子を示しています。 例: [戻る]
「(メニュー名)」	画面に表示されているボタンやメニュー名を示しています。 例: 「OK」
	奇数ページを超えて、次ページに説明が続くことを示しています。

「本機」または「プロジェクター」という表記について

本書の中に出てくる「本機」「プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかにも同梱品や別売品も含まれる場合があります。

コンピュータの説明について

本編では Windows、Macintosh 共通の操作は、Windows を例に説明しています。内容が異なるときは個別に説明をしています。

目次

ネットワーク接続の利用例.....	2
パターン1:無線 LAN で簡単接続.....	2
パターン2:無線 LAN のアクセスポイント経由で接続.....	3
パターン3:有線 LAN で常時接続.....	3

ネットワーク接続を利用するための準備

ネットワーク接続利用までの流れ.....	6
無線 LAN の簡単接続モードで接続する場合.....	6
無線 LAN のアクセスポイントモードで接続する場合.....	6
有線 LAN で接続する場合.....	7
無線 LAN 利用時のご注意.....	8
コンピュータに EasyMP Software をインストールする	11
EasyMP Software が動作可能なコンピュータ.....	12
EasyMP Software のインストール.....	13
LAN カードのセットと取り出し.....	15
プロジェクターに LAN カードをセットする.....	15
取り出し方.....	16
簡単接続モード(無線 LAN)で接続する.....	17
プロジェクターのネットワーク設定をする.....	18
コンピュータの無線 LAN を設定する.....	22
アクセスポイントモードまたは有線 LAN モードで接続する	26
プロジェクターのネットワーク設定をする.....	27
コンピュータをネットワーク接続できる状態にする.....	33
コンピュータとプロジェクターをネットワーク接続する.....	35
ネットワーク接続を切断する.....	42
コンピュータから切断する.....	42
プロジェクターから切断する.....	43

付 録

接続時の制限事項.....	46
こんなときには.....	49
用語解説.....	51
索引.....	54

ネットワーク接続の利用例

プロジェクターとコンピュータをネットワークで接続するには、以下の3つの方法があります。

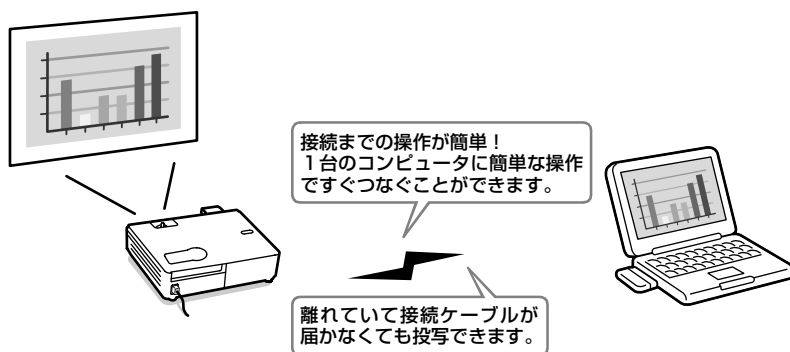
まず、プロジェクターとコンピュータをネットワークで接続する方法を確認しましょう。

- 無線 LAN を使って、1 台のプロジェクターと 1 台のコンピュータを接続する（無線 LAN で簡単接続）
- 無線 LAN を使って、アクセスポイント経由でネットワークシステムに接続する（無線 LAN のアクセスポイント経由で接続）
- 有線 LAN で、ネットワークシステムに接続する（有線 LAN で常時接続）

パターン 1 : 無線 LAN で簡単接続

こんなときにお勧めします

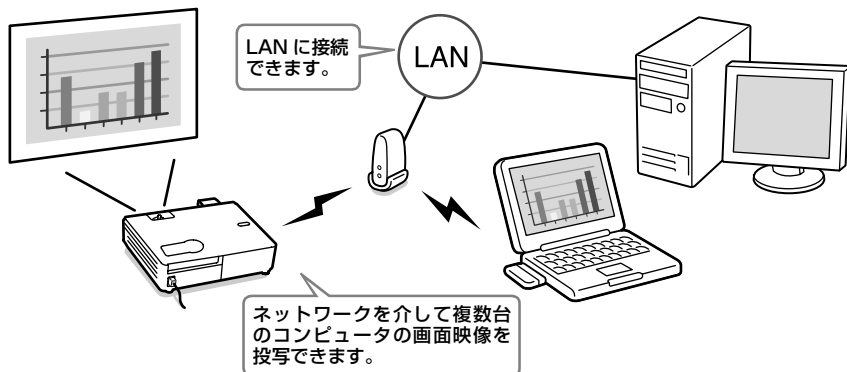
- コンピュータと 1 対 1 で接続したい
- とにかくすぐコンピュータに接続したい
- コンピュータに接続ケーブルが届かない



パターン2:無線 LAN のアクセスポイント経由で接続

こんなときにお勧めします

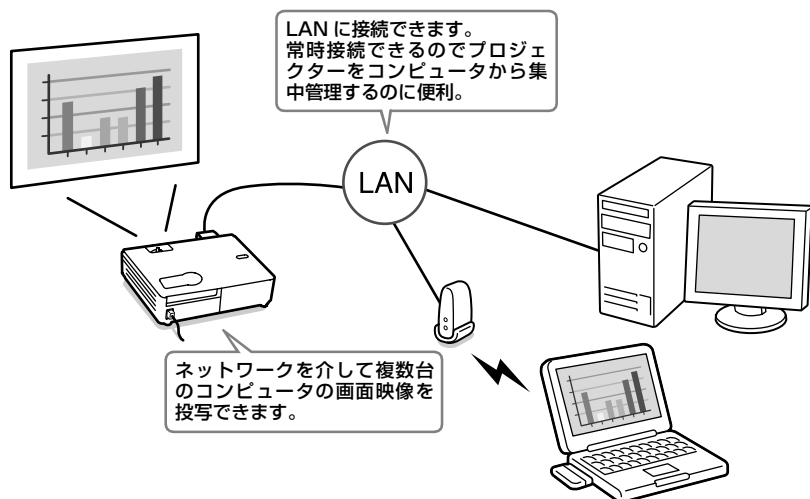
- ネットワークシステム(LAN)に接続して複数のコンピュータから活用したい
- 無線 LAN を使ってネットワークシステム(LAN)に接続したい



パターン3:有線 LAN で常時接続

こんなときにお勧めします

- ネットワークシステム(LAN)に接続して複数のコンピュータから活用したい
- 常時接続したい



ネットワーク接続を利用するための準備

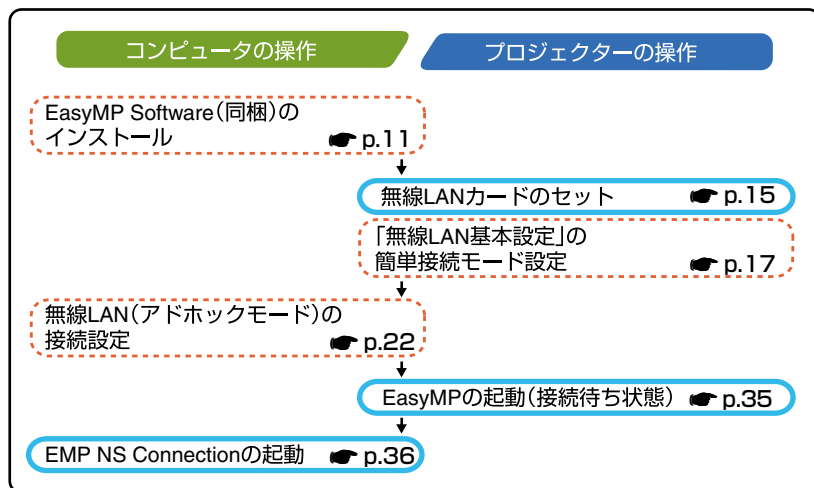
ここでは、プロジェクターとコンピュータをネットワーク経由で接続するための準備作業について説明しています。

ネットワーク接続利用までの流れ	6
●無線 LAN の簡単接続モードで接続する場合	6
●無線 LAN のアクセスポイントモードで接続する場合	6
●有線 LAN で接続する場合	7
●無線 LAN 利用時のご注意	8
●接続可能な無線 LAN カードとアクセスポイントの条件	8
●同梱の無線 LAN カード使用上のご注意	8
●電波に関する安全上の注意	8
●周波数に関する使用上の注意	9
●国外へ持ち出す場合の注意	9
●無線 LAN 使用時のセキュリティに関する注意	9
コンピュータに EasyMP Software をインストールする	11
●用意するもの	11
●インストール内容	11
●EasyMP Software が動作可能なコンピュータ	12
●EMP NS Connection が動作可能なコンピュータ	12
●EMP SlideMaker2 が動作可能なコンピュータ	12
●EMP Monitor が動作可能なコンピュータ	12
●EasyMP Software のインストール	13
LAN カードのセットと取り出し	15
●プロジェクターに LAN カードをセットする	15
●取り出し方	16
簡単接続モード(無線 LAN)で接続する	17
●プロジェクターのネットワーク設定をする	18
●コンピュータの無線 LAN を設定する	22
●Windows の場合	22
●Macintosh の場合	25
アクセスポイントモードまたは有線 LAN モードで接続する	26
●プロジェクターのネットワーク設定をする	27
●無線 LAN(アクセスポイントモード)または有線 LAN の基本設定	27
●無線 LAN のセキュリティについて	31
●プロジェクターの監視・制御について	32
●コンピュータをネットワーク接続できる状態にする	33
●Windows の場合	33
●Macintosh の場合	33
コンピュータとプロジェクターをネットワーク接続する	35
●プロジェクターを接続待機状態にする	35
●コンピュータで EMP NS Connection を起動する	36
ネットワーク接続を切断する	42
●コンピュータから切断する	42
●プロジェクターから切断する	43

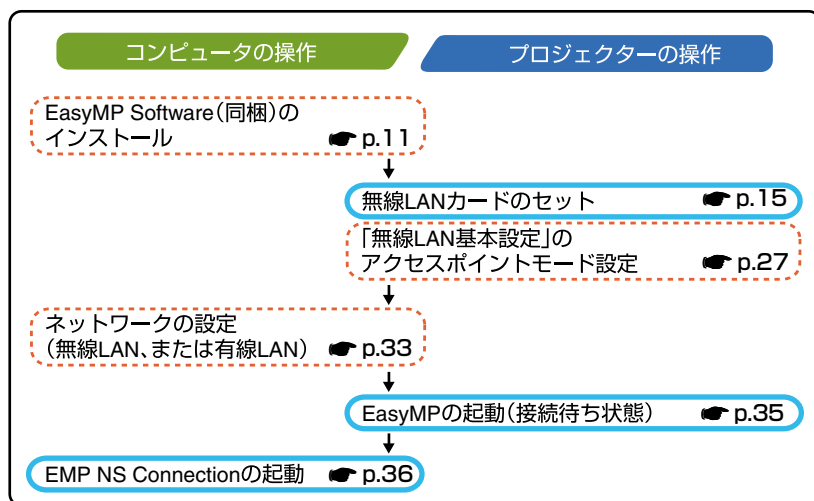
ネットワーク接続利用までの流れ

 初回のみ操作  2回目以降も操作

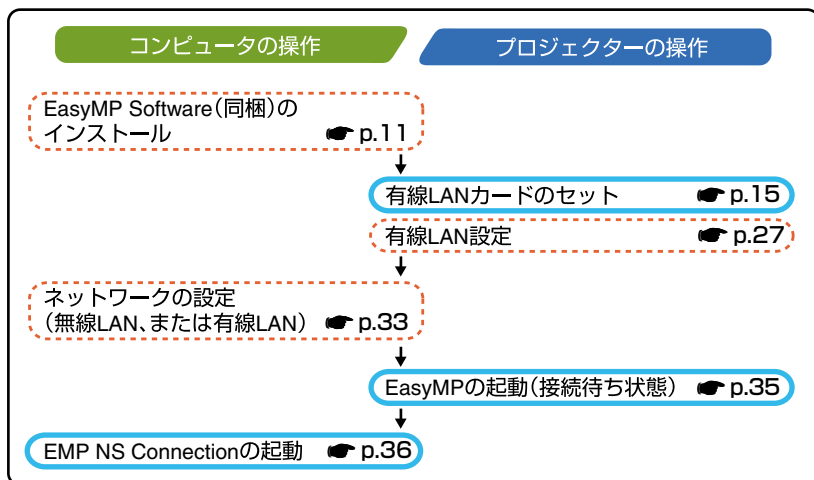
無線 LAN の簡単接続モードで接続する場合



無線 LAN のアクセスポイントモードで接続する場合



有線 LAN で接続する場合



ポイント

使用できる有線 LAN カードの詳細は、エプソンのホームページ「I Love EPSON」でご確認ください。☞『取扱説明書』『お問い合わせ先』

無線 LAN 利用時のご注意

接続可能な無線 LAN カードとアクセスポイントの条件

同梱の無線 LAN カードは、Wi-Fi(802.11g および 802.11b)に準拠した以下の製品と接続できます。

- 無線 LAN カード
- 無線 LAN 機能内蔵コンピュータ
- アクセスポイント

同梱の無線 LAN カードは、本プロジェクター専用となっております。コンピュータにセットしてトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。

同梱の無線 LAN カード使用上のご注意

本プロジェクターでは、同梱品以外の無線 LAN カードは使用できません。

同梱の無線 LAN カードの仕様は次のとおりです。

使用周波数帯域	2.4GHz 帯
変調方式	802.11b : DS-SS 方式 802.11g : OFDM 方式
想定干渉距離	20m 以下
周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」帯域を回避可能

電波に関する安全上の注意

同梱の無線 LAN カードを使用する際は、次の点に注意してください。

- 心臓ペースメーカーに電磁妨害をおよぼし、誤作動の原因となることがあります。お使いの前に、電磁妨害が発生しないことを十分に確認した上で、お使いください。
- 医療機器に電磁妨害をおよぼし、誤動作の原因となることがあります。お使いの前に、電磁妨害が発生しないことを十分に確認した上で、お使いください。
- 電子レンジの近くでお使いにならないでください。電子レンジから発生される電磁妨害により、正しく無線通信できなくなります。
- 飛行機での使用は国によって制限される場合があります。お使いの前に、制限がないかを十分確認した上で、お使いください。

周波数に関する使用上の注意

同梱の無線 LAN カードの使用周波数帯は、2.4GHz 帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか工場の製造ラインで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)が運用されています。

無線 LAN カードを使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。万一、この無線 LAN カードから移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用をやめ電波の発生を停止してください。

その他、この無線 LAN カードから移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、インフォメーションセンターにお問い合わせください。

国外へ持ち出す場合の注意

無線 LAN カードは販売国の仕様に基づき同梱されています。

無線 LAN カードは、使用する国によりチャンネル▶▶番号や使用周波数に制限があるため、同梱の無線 LAN カードを販売国以外で使用する場合はご注意ください。

無線 LAN 使用時のセキュリティに関する注意

(お客様の権利(プライバシー保護)に関する重要な事項です！)

無線 LAN では、ネットワークケーブルを使用する代わりに、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、次の行為をされてしまう可能性があります。

- ・ 個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
- ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
- ・ 傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)
- ・ コンピュータウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)

本来、無線LANカードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分に理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

本機でのセキュリティの設定について  『EasyMP 活用ガイド』「無線 LAN のセキュリティ対策」

コンピュータに EasyMP Software をインストールする

用意するもの

- 『EasyMP Software』CD-ROM(同梱)
- EasyMP Software が動作可能なコンピュータ(次頁参照)

インストール内容

『EasyMP Software』CD-ROMには、以下のソフトウェアが収録されています。

● EMP NS Connection

ネットワーク接続したコンピュータの画面映像を投写する「Network Screen」を行うときに、コンピュータの映像をネットワーク経由でプロジェクターに送信するためのソフトウェアです。

☛ 「コンピュータとプロジェクターをネットワーク接続する」 p.35

● EMP SlideMaker2

PowerPoint ファイルをプロジェクターで直接再生できる形式に変換し、「シナリオ」ファイルを作成するソフトウェアです。EMP SlideMaker2 では元となる PowerPoint ファイルを変更することなく、必要な部分を抽出したり、並び替えたり、途中に画像ファイルや動画ファイルを組み込むこともできます。メモリカードや USB ストレージにシナリオを転送し、プロジェクターにセット(または接続)して、そのまま投写できるので、コンピュータを接続しなくてもプレゼンテーションができます。

☛ 『EasyMP 活用ガイド』

「プレゼンテーションの準備 (EMP SlideMaker2 の使い方)」

● EMP Monitor

ネットワーク接続している複数のプロジェクターの状態をコンピュータ画面に一覧表示して監視したり、いっせいにプロジェクターの電源をオン/オフするなどの制御を行うソフトウェアです。

ネットワーク上の複数のプロジェクターを一人のオペレータが一括して監視・制御できます。

☛ 『EMP Monitor 操作ガイド』

各ソフトウェアにより、動作可能なコンピュータの条件が次のように異なります。

EasyMP Software が動作可能なコンピュータ

EMP NS Connection が動作可能なコンピュータ

HDD: ハードディスク

OS	Windows 98/Me/2000/XP Mac OS X 10.2.4 以上
CPU	Windows Pentium III 600MHz 以上(Pentium 4、または Pentium M を推奨) Macintosh Power PC G3 以上(500MHz 以上を推奨)
メモリ容量	Windows 128MB 以上(256MB 以上を推奨) Macintosh 256MB 以上
HDD 空き容量	20MB 以上
ディスプレイ	VGA(640 × 480)以上の解像度 (Windows: XGA(1024 × 768)の解像度、32 ビットカラーの表示色を推奨。Macintosh: XGA(1024 × 768)の解像度を推奨、表示色については  p.47 でご確認ください。)

EMP SlideMaker2 が動作可能なコンピュータ

OS ※	Windows 98/Me/2000/XP
CPU	Celeron 300MHz 以上(Celeron 400MHz 以上を推奨)
メモリ容量	64MB 以上(128MB 以上を推奨)
HDD 空き容量	12MB 以上
ディスプレイ	SVGA(800 × 600)以上の解像度 (XGA(1024 × 768)以上を推奨)

※ Macintosh には対応していません。

EMP Monitor が動作可能なコンピュータ

OS ※	Windows 98 SE/Me/NT 4.0/2000 Professional/XP
CPU	Pentium MMX 166MHz 以上(Pentium II 233MHz 以上を推奨)
メモリ容量	64MB 以上(128MB 以上を推奨)
HDD 空き容量	6MB 以上
ディスプレイ	XGA(1024 × 768)以上の解像度、16 ビットカラー以上の表示色

※ Macintosh には対応していません。

EasyMP Software のインストール

Windows 2000/NT4.0/XP を使っている場合は、管理者権限のユーザーに限りインストールが行えます。

操作

1 コンピュータの電源を入れて、常駐アプリケーションをすべて終了します。

2 コンピュータに同梱の『EasyMP Software』CD-ROM をセットします。

Windows の場合

自動でインストーラが起動します。

Macintosh の場合

「EPSON」ウィンドウで、「Installer for Mac OS X」アイコンをダブルクリックします。

旧バージョンの EMP NS Connection をインストールしている場合は、新バージョンをインストールする前に旧バージョンをアンインストールしてください。☛ p.50

3 ウイルスチェックプログラムに関する画面が表示されるので、内容を確認して「続ける」をクリックします。

ソフトウェア確認画面が表示されます。



ポイント

Windows をお使いの場合

セットアッププログラムが起動しない場合は、「スタート」→「ファイル名を指定して実行」で「ファイル名を指定して実行」ダイアログボックスを開き、「CD-ROM のドライブ名 : ¥Epssetup.exe」を指定して「OK」ボタンをクリックしてください。

4 設定内容を確認して「インストール」ボタンをクリックします。

Windows



インストールする
ソフトウェアの選択

表示される言語の変更

インストールの実行

インストーラの終了

Macintosh

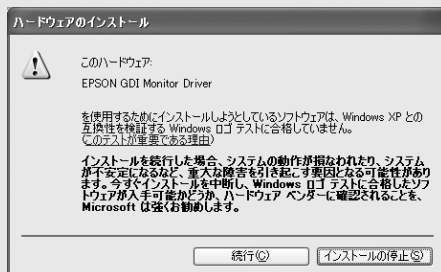


インストールが始まります。以降は、画面の指示に従って進めてください。



注意

Windows 2000/XPへEMP NS Connectionをインストールしている途中で、次の画面が表示されます。



必ず「はい」(Windows 2000)または「続行」(Windows XP)を選択してください。「はい」または「続行」を選択しないとNetwork Screenが正常に動作しません。

「EPSON GDI Monitor Driver」がインストールされる時、画面が一瞬消えることがあります。問題ありません。そのままインストールを続けてください。

5 「終了」ボタンをクリックするとインストールが終了します。

Macintoshをお使いの場合は、再起動をうながすメッセージが表示されることがあります。メッセージに従い再起動を行ってください。

LAN カードのセットと取り出し

プロジェクターに LAN カードをセットする

ここでは、LAN カードのセット方法と取り出し方を、同梱の無線 LAN カードを例に説明します。有線 LAN カードを使う場合は、使用するカードに添付の『取扱説明書』をご覧ください。

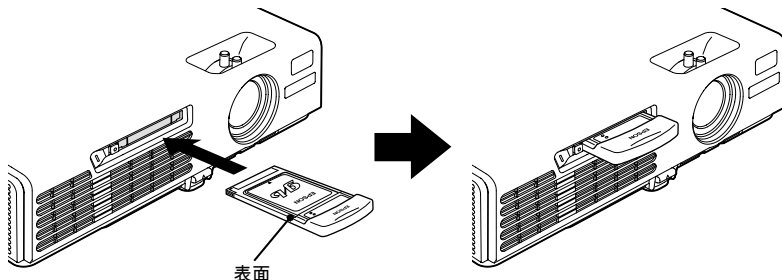


注意

- カードは、正しい向きでセットしてください。逆向きにセットすると故障や機器の破損の原因となります。
- プロジェクターを持ち運ぶときは、必ず事前にカードを抜いてください。

操作

無線 LAN カードの表面を上側に向けて、カードスロットに差し込みます。
止まるところまでしっかり差し込んでください。



取り出し方

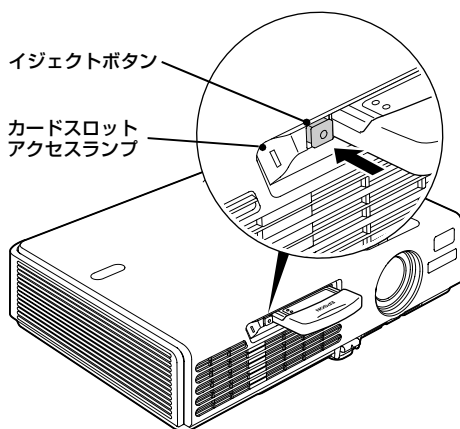


- 無線 LAN カードのアクセランプが緑色で点滅しているときは、無線 LAN カードを取り出さないでください。無線 LAN カードが壊れることがあります。
- プロジェクターの使用中または使用直後は、無線 LAN カードが高温になっています。取り出しの際に不用意に触らないでください。やけどの原因となることがあります。

操作

1 カードスロット左側のイジェクトボタンを押します。

イジェクトボタンが飛び出します。



2 イジェクトボタンをもう一度、押し込みます。

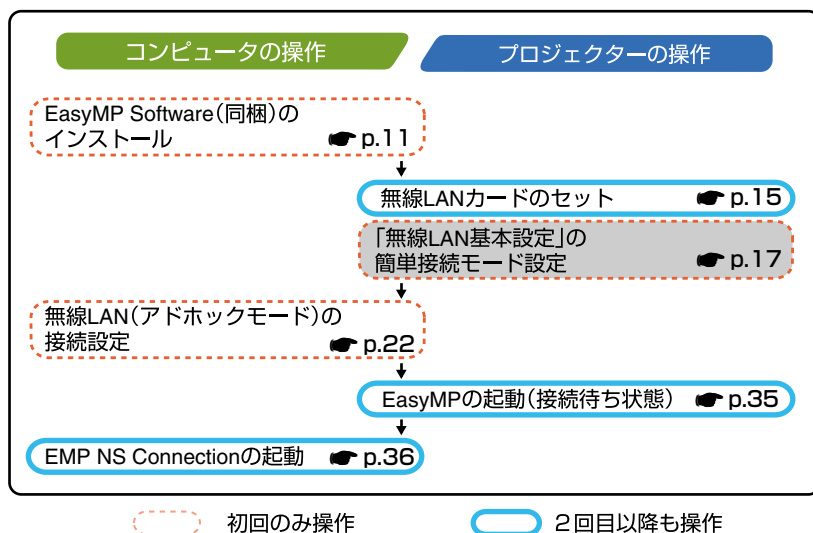
無線 LAN カードが少し飛び出しますので、そのまま無線 LAN カードをまっすぐに引き抜きます。



イジェクトボタンが出たままになっていると、折れるなど故障の原因となりますので、必ず押し込んでください。

簡単接続モード(無線 LAN)で接続する

ここでは、簡単接続モードでコンピュータの映像を投写するまでの手順と、接続の切断について説明します。



ポイント

使用するコンピュータの画面解像度を XGA か、それ以下にし、色数設定を 32 ビットカラー (Windows) または約 32000 色 (Macintosh) にしておく
と最適なパフォーマンスでお使いになれます。



注意

無線 LAN カードのアクセスランプが緑色で点滅しているときは、無線 LAN
カードを取り出さないでください。無線 LAN カードが壊れることがあります。

プロジェクターのネットワーク設定をする

最初にプロジェクターで簡単接続モードの接続設定をします。

ここでの接続設定の操作は、同梱のリモコンで行います。



この設定は、1 度行えば 2 回目以降は操作する必要はありません。

操作

- 1 プロジェクターのカードスロットに無線 LAN カードをセットします。
☛ p.15
- 2 [電源] ボタンを押し、プロジェクターの電源を入れます。
- 3 [EasyMP] ボタンを押します。
EasyMP 待機画面が表示されます。
- 4 画面右下の「環境設定」ボタンが選択されていることを確認し、[決定] ボタンを押します。



- 5 [⊙] ボタンを下に傾けてカーソルを画面左側の「無線 LAN」-「基本設定」ボタンへ移動し、[決定] ボタンを押します。

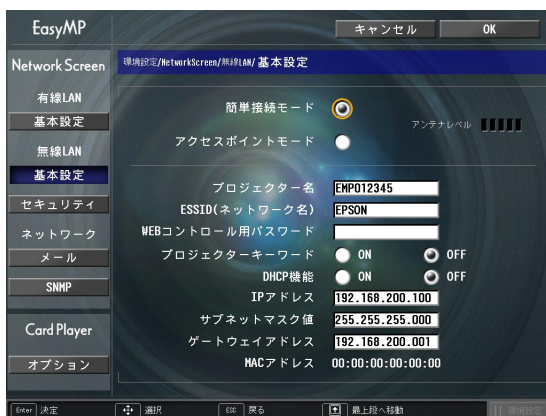
6 「簡単接続モード」にカーソルがあることを確認し、[決定]ボタンを押します。

「簡単接続モード」が選択されます。



7 設定したい項目にカーソルを移動して、[決定]ボタンを押して項目を設定します。

各項目の設定内容は次の表のとおりです。



項目によっては文字や数値の入力が必要な場合があります。文字や数値の入力方法は「文字や数値の入力方法」(p.20)をご覧ください。

プロジェクター名	プロジェクター固有の名前を入力します。ネットワークに接続したとき、ここで入力した名前プロジェクターを識別します。 初期値は EMPxxxxxx (xxxxxx は有線 LAN の MAC アドレス下 6 桁) です。 半角英数字で最大 16 文字まで入力できます。
ESSID ▶ (ネットワーク名)	ESSID を入力します。初期値は EPSON です。 半角英数字で最大 16 文字入力できます。 通常、接続するコンピュータと同じ語句(文字列)を設定する必要がありますが、本機は ESSID 自動検索機能を搭載しているため、コンピュータの ESSID 設定に合わせなくても接続ができます。 ESSID 自動検索は、プロジェクターに設定されている ESSID が一時的にコンピュータにも適応される機能です(初期設定)。ESSID を意識せずに簡単にコンピュータとプロジェクターを接続できます。
WEB コントロー ル用パスワード	パスワードを設定しておく、EasyWeb を使うとき、EMP Monitor を起動したときに、パスワードの入力を求められます。 半角英数字で最大 8 文字まで有効です。
プロジェクター キーワード	プロジェクターキーワードを「ON」に設定していると、無線 LAN で接続しようとしたとき、キーワードの入力が求められます。この機能を使うと、別室から届く無線 LAN の電波による意図しない接続でプレゼンテーションが妨害されるのを防ぐことができます。 通常は「ON」に設定してお使いください。
MAC アドレス ▶	セットした無線 LAN カードの MAC アドレスを表示します。無線 LAN カードがセットされていないときは 00:00:00:00:00:00 と表示されます。

※「クリア」ボタンが表示される項目では、「クリア」ボタンを選択してリモコンの[決定]ボタンを押すと、入力内容が消去されます。

文字や数値の入力方法

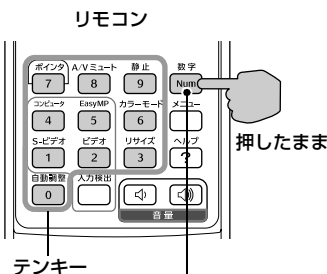
リモコンを使って文字や数値を入力するには、次の手順で行います。

1. 入力する項目にカーソルを移動して、[決定]ボタンを押します。カーソルが緑色になり、入力モードになります。

2. 数字を入力する場合は、[数字]ボタンを押したまま、テンキーボタンで入力します。

文字を入力する場合は、[⌵]ボタンを押すとピリオド(.)を入力できます。文字を入力する場合は、[⊙]ボタンを上へ傾けると、A～Z→0～9→記号→a～z→スペースの順で切り替わります。下へ傾けると、逆順で切り替わります。[⊙]を、傾けたままにするとキーリピートが働き、素早く目的の文字を選択できます。

3. 2文字以上の文字や数字を入力する場合は、[⊙]ボタンを右に傾けます。
1 番目の文字や数字が決定し、2 番目の入力位置へカーソルが移動します。
4. 文字や数字をすべて入力したら、[決定]ボタンを押して入力を確定します。カーソルが黄色に変わります。



【数字】ボタンを押している間は枠内のボタンがテンキーモードになります。

8 [⏏]ボタンを押してカーソルを画面右上の「OK」ボタンに移動し、[決定]ボタンを押します。

EasyMP 待機画面に戻ります。設定した ESSID が表示されます。「プロジェクターキーワード」を「ON」に設定した場合は、プロジェクターキーワードも表示されます。



ここに表示されます。



ポイント

コンピュータと接続するときには、必ず EasyMP 待機画面に表示されているプロジェクターキーワードを確認してから入力してください。前回のキーワードを入力しても接続できません。

コンピュータの無線 LAN を設定する

Windows の場合

接続するコンピュータ側の設定方法を説明します。接続するコンピュータの無線 LAN 設定を以下のように設定します。

- アドホックモードに設定する
- **WEP** キーを無効にする

ここでは、コンピュータの OS が WindowsXP SP2 の場合の設定方法を解説しています。WindowsXP SP2 以外の OS をお使いの場合は、無線 LAN カードに添付されている取扱説明書を参照して設定操作を行ってください。



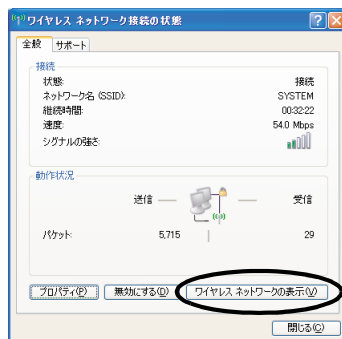
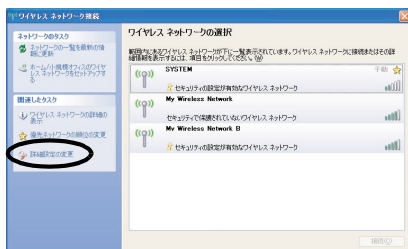
ポイント

- この設定は、1 度行えば 2 回目以降は操作する必要はありません。
- お使いになる無線 LAN カードのドライバにより、実際に画面に表示される内容やボタン名が異なる場合があります。

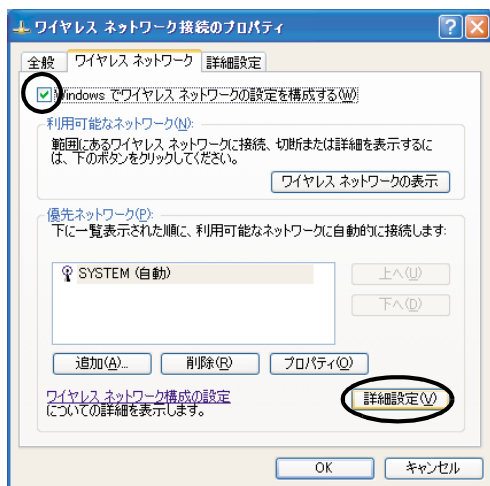
操作

- 1** お使いの無線 LAN カードやコンピュータの取扱説明書をご覧になり、次の作業を行って無線 LAN カードを使える状態にします。
 - 無線 LAN カードをコンピュータにセットする
 - 無線 LAN カードのドライバをインストールする
- 2** コンピュータの電源を入れ、「スタート」-「接続」-「ワイヤレスネットワークの接続」の順に選択します。

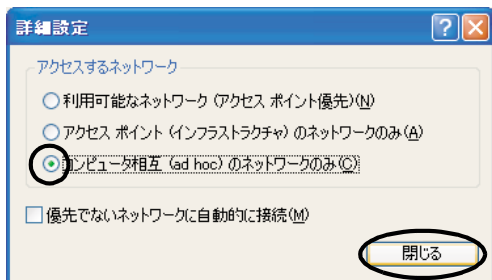
- 3** 左の画面が表示された場合は、「詳細設定の変更」ボタンをクリックします。
右の画面が表示された場合は、「ワイヤレスネットワークの表示」ボタンをクリックします。



- 4** ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ画面で、次の設定をし「詳細設定」ボタンをクリックします。



5 詳細設定画面で次の設定をし「閉じる」ボタンをクリックします。

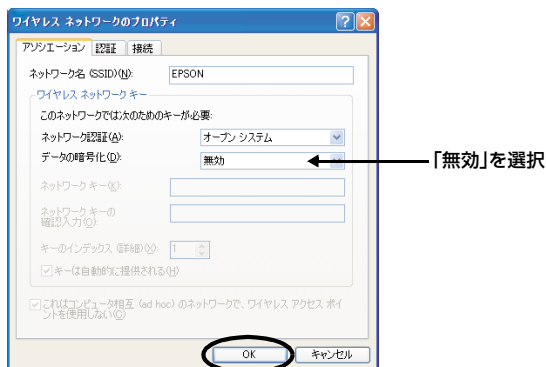


6 ワイヤレスネットワーク接続のプロパティ画面で「追加」ボタンをクリックします。



7 ワイヤレスネットワークのプロパティの画面で「データの暗号化」の「無効」を選択し、「OK」ボタンをクリックして終了します。

Windows 98/ME の場合は、ネットワーク名 (SSID) の欄に接続するプロジェクターの ESSID (初期値は「EPSON」) と同じ語句 (文字列) を設定します。
Windows XP/2000 の場合は、ESSID 自動検索を行うと、ESSID を設定しなくても接続できます。



続いて、「コンピュータとプロジェクターをネットワーク接続する」➡ p.35 へ進んでください。

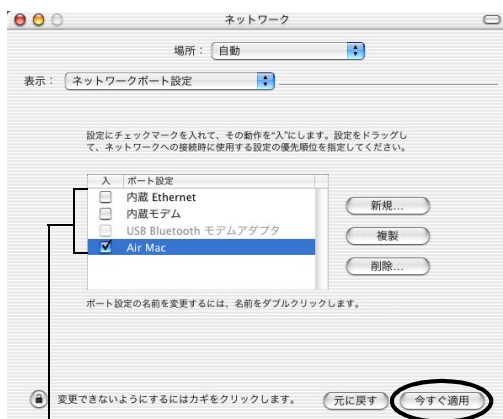
Macintosh の場合

ここでは接続するポートの設定について説明します。

ポートの詳細設定(ネットワークの設定)についてはコンピュータ、AirMac カードの各取扱説明書をご覧ください。

操作

- 1 アップルメニューから「システム環境設定」-「ネットワーク」を選択します。
ネットワーク設定画面が表示されます。
- 2 「ポート設定」で使用するポート1つにチェックマークを付け、「今すぐ適用」をクリックします。



使用するポート1つにチェックマークを付けます。



ポイント

「場所」を設定すると、目的の場所を選んで、すべてのネットワーク設定を一度に切り替えることができます。

3 画面を閉じます。



ポイント

「ネットワークポート設定」では、必ず、使用するポート1つのみチェックマークを付けて、他のポートはチェックマークを外しておいてください。複数のポートにチェックマークを付けると、意図しないネットワークにつながってしまう場合があります。

続いて、「コンピュータとプロジェクターをネットワーク接続する」▶ p.35 へ進んでください。

アクセスポイントモードまたは有線LANモードで接続する

ここでは、次のいずれかで接続する場合の接続方法を説明します。

- **無線 LAN アクセスポイントモード**

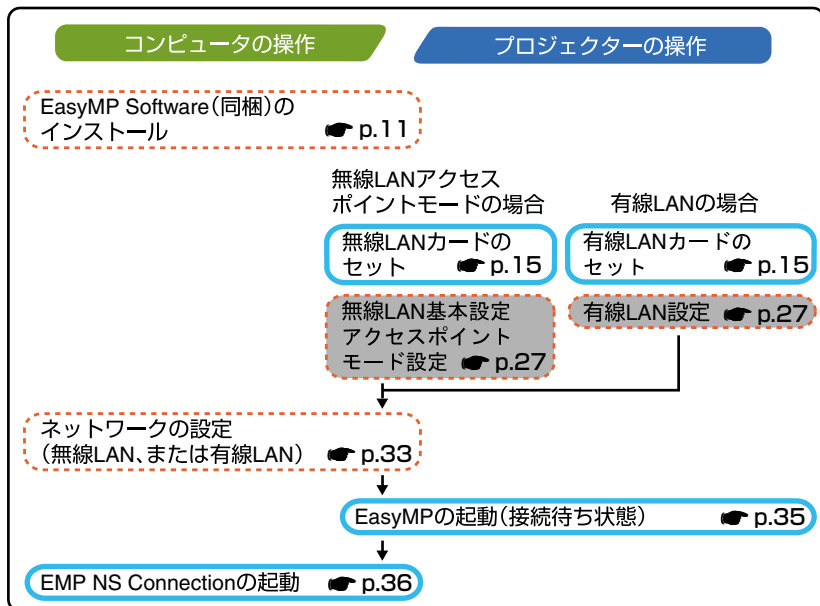
既存のネットワークシステムに接続された無線LANアクセスポイントを経由して、コンピュータと接続する方法です。

- **有線 LAN モード**

既存のネットワークシステムにネットワークケーブルを使って接続する方法です。

普段、コンピュータをアクセスポイントまたは有線 LAN を使ってネットワークシステムに接続して使っている場合は、コンピュータ側の LAN の設定はそのままプロジェクター側のみ設定を行います。

これらの方法で接続すると、ネットワークを介してコンピュータの映像をプロジェクターから投写できることに加えて、プロジェクターの状態をコンピュータから監視することができます。



初回のみ操作



2回目以降も操作



ポイント

- 使用できる有線 LAN カードの詳細は、エプソンのホームページ「I Love EPSON」でご確認ください。☞『取扱説明書』『お問い合わせ先』
- 使用するコンピュータの画面解像度を XGA か、それ以下にし、色数設定を 32 ビットカラー (Windows) または約 32000 色 (Macintosh) にしておくこと最適なパフォーマンスでお使いになります。



注意

- 無線 LAN カードのアクセスランプが緑色で点滅しているときは、無線 LAN カードを取り出さないでください。無線 LAN カードが壊れることがあります。
- 有線 LAN カードのアクセスランプについては、ご使用の有線 LAN カードの『取扱説明書』をご覧ください。

プロジェクターのネットワーク設定をする

ここでは、無線 LAN (アクセスポイントモード) または有線 LAN を利用するために必要な基本設定について説明します。

ここでの接続設定の操作は、同梱のリモコンで行います。



ポイント

- この設定は、1 度行えば 2 回目以降は操作する必要はありません。
- ここではリモコンを使った設定方法を解説していますが、一度「簡単接続モード」で接続してから、コンピュータの Web ブラウザを使って設定することもできます。この方法だと、コンピュータのキーボードを使って入力できるので設定が容易にできます。
☞『EasyMP 活用ガイド』『Web ブラウザを使って設定を変更する (EasyWeb)』
- 以降の設定作業は、参加するネットワークシステムの管理者の指示に従って行ってください。

無線 LAN (アクセスポイントモード) または有線 LAN の基本設定

操作

1 プロジェクターのカードスロットに LAN カードをセットします。

☞ p.15

2 [電源] ボタンを押し、プロジェクターの電源を入れます。



- 3** [EasyMP] ボタンを押します。
EasyMP 待機画面が表示されます。

- 4** 画面右下の「環境設定」ボタンが選択されていることを確認し、[決定] ボタンを押します。



- 5** **無線 LAN の場合**
[⊙] ボタンを下に傾けてカーソルを画面左側の「無線 LAN」-「基本設定」ボタンへ移動し、[決定] ボタンを押します。

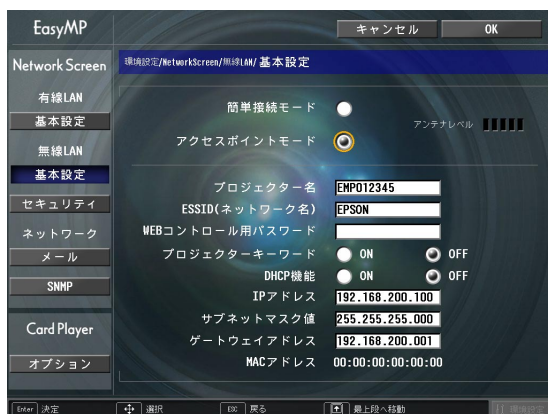
有線 LAN の場合

画面左側の「有線 LAN」-「基本設定」ボタンが選択されていることを確認し、[決定] ボタンを押します。

- 6** **無線 LAN のみ**
「アクセスポイントモード」にカーソルを移動し、[決定] ボタンを押します。
「アクセスポイントモード」が選択されます。



7 設定したい項目にカーソルを移動し[決定]ボタンを押して項目を設定します。



プロジェクターがネットワークに参加できるように設定します。
項目によっては文字や数値の入力が必要な場合があります。文字や数値の入力方法は「文字や数値の入力方法」(p.20)をご覧ください。

プロジェクター名	プロジェクター固有の名前を入力します。ネットワークに接続したとき、ここで入力した名前プロジェクターを識別します。 初期値は、EMPxxxxxx(xxxxxx は、セットされている LAN カードの MAC アドレス下 6 桁)です。 半角英数字で最大 16 文字まで入力できます。
ESSID(ネットワーク名) 無線 LAN のみ	ESSID を入力します。プロジェクターが参加する無線 LAN システムで ESSID が定められている場合は、その ESSID を入力します。 初期値は EPSON です。 半角英数字で最大 16 文字まで入力できます。
WEB コントロール用パスワード	パスワードを設定しておく、EasyWeb を使うとき、EMP Monitor を起動したときに、パスワードの入力を求められます。 半角英数字で最大 8 文字まで有効です。

プロジェクター キーワード	プロジェクターキーワードを「ON」に設定していると、ネットワーク経由で接続しようとしたとき、キーワードの入力が求められます。この機能を使うと、予定外のコンピュータからの接続でプレゼンテーションが妨害されるのを防ぐことができます。 通常は「ON」に設定してお使いください。
DHCP▶ 機能	DHCP の使用を設定します。 「ON」:DHCP を使用する 「OFF」:DHCP を使用しない
IP アドレス▶	プロジェクターに割り当てる IP アドレスを入力します。 アドレスの各フィールドには 0 ～ 255 の数字を入力できます。ただし、以下の IP アドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0 ～ 255.255.255.255 (x は 0 ～ 255 の数字)
サブネットマ スク▶ 値	プロジェクターのサブネットマスクを入力します。 アドレスの各フィールドには 0 ～ 255 の数字を入力できます。ただし、以下のサブネットマスクは使用できません。 0.x.x.x ～ 254.255.255.255、255.255.255.255 (x は 0 ～ 255 の数字)
ゲートウェイ▶ アドレス	プロジェクターのゲートウェイの IP アドレスを入力します。アドレスの各フィールドには 0 ～ 255 の数字を入力できます。ただし、以下のゲートウェイアドレスは使用できません。 0.0.0.0、127.x.x.x、224.0.0.0 ～ 255.255.255.255 (x は 0 ～ 255 の数字)
MAC アドレス▶	セットした LAN カードの MAC アドレスを表示します。LAN カードがセットされていない場合は、00:00:00:00:00:00 と表示されます。

※「クリア」ボタンが表示される項目では、「クリア」ボタンを選択してリモコンの[決定]ボタンを押すと、入力内容が消去されます。

8 [↑] ボタンを押してカーソルを画面右上の「OK」ボタンに移動し、[決定] ボタンを押します。

EasyMP 待機画面に戻ります。設定した IP アドレスが表示されます。「プロジェクターキーワード」を「ON」に設定した場合は、プロジェクターキーワードも表示されます。



ポイント

コンピュータと接続するときには、必ず EasyMP 待機画面に表示されているプロジェクターキーワードを確認してから入力してください。前回のキーワードを入力しても接続できません。

無線LANのセキュリティについて

無線 LAN をお使いの場合、「セキュリティ」の設定を行うことをお勧めします。無線 LAN の電波は、壁などの障害物を越えてどこへでも届くため、セキュリティに関する設定を行っていないと、通信内容を盗み見られるなどの問題が発生する可能性があります。

セキュリティの設定は「無線 LAN」-「セキュリティ」を選択して行います。

- 『EasyMP 活用ガイド』「ネットワーク経由でコンピュータの映像を投写する (Network Screen)」 「無線 LAN のセキュリティ対策」

プロジェクトターの監視・制御について

以下の機能を使って、ネットワーク経由でコンピュータからプロジェクトターの管理・制御を行うことができます(無線 LAN、有線 LAN のどちらもできます)。

● メール通知機能

メール通知機能を使うと、プロジェクトターに何らかの異常が発生した場合、あらかじめ設定したメールアドレスに対して異常状態がメールで通知されます。メール通知機能の設定は「ネットワーク」-「メール」を選択して行います。

☛ 『EasyMP 活用ガイド』「メール通知機能で異常を通知する」

● SNMP ▶ 機能

SNMP 機能を使うと、プロジェクトターに何らかの異常が発生した場合、あらかじめ設定したコンピュータに対して異常状態が通知されます。SNMP の設定は「ネットワーク」-「SNMP」を選択して行います。

☛ 『EasyMP 活用ガイド』「SNMP を使って管理する」



ポイント

SNMP による管理は、必ずネットワーク管理者などネットワークに詳しい人が行ってください。SNMP 機能を使ってプロジェクトターを監視するには、コンピュータ側に SNMP マネージャプログラムがインストールされている必要があります。

● EMP Monitor を使った監視・制御機能

同梱の『EasyMP Software』CD-ROM に入っている「EMP Monitor」を使うと、ネットワークで接続しているプロジェクトターの状態を、最大64台までコンピュータのモニタに表示できます。1台のコンピュータで複数のプロジェクトターを一括して監視・制御できます。

EMP Monitor のインストール ☛ p.13

EMP Monitor の使い方 ☛ 『EMP Monitor 操作ガイド』

コンピュータをネットワーク接続できる状態にする

コンピュータを使って、ネットワーク(LAN)に参加できるように設定します。
すでに設定済みの場合は、ここでの設定は必要ありません。

Windows の場合

コンピュータの接続設定はLANカードに添付のユーティリティソフトを使って行います。

ユーティリティソフトの使用方法是、お使いの LAN カードの『取扱説明書』をご覧ください。

Macintosh の場合

ここでは接続するポートの設定について説明します。

ポートの詳細設定(ネットワークの設定)についてはコンピュータ、AirMac カードの各取扱説明書をご覧ください。

操作

- 1 アップルメニューから「システム環境設定」-「ネットワーク」を選択します。
ネットワーク設定画面が表示されます。
- 2 「ポート設定」で使用するポート1つにチェックマークを付け、「今すぐ適用」をクリックします。



使用するポート 1 つにチェックマークを付けます。



ポイント

「場所」を設定すると、目的の場所を選んで、すべてのネットワーク設定を一度に切り替えることができます。

3 画面を閉じます。



ポイント

「ネットワークポート設定」では、必ず、使用するポート 1 つのみチェックマークを付けて、他のポートはチェックマークを外しておいてください。複数のポートにチェックマークを付けると、意図しないネットワークにつながってしまう場合があります。

続いて、「コンピュータとプロジェクターをネットワーク接続する」➡ p.35 へ進んでください。

コンピュータとプロジェクターをネットワーク接続する

接続設定が完了したら、コンピュータで EMP NS Connection を起動し、プロジェクターと接続します。1 度ネットワーク設定を行ってれば、以降はこの接続操作から始められます。

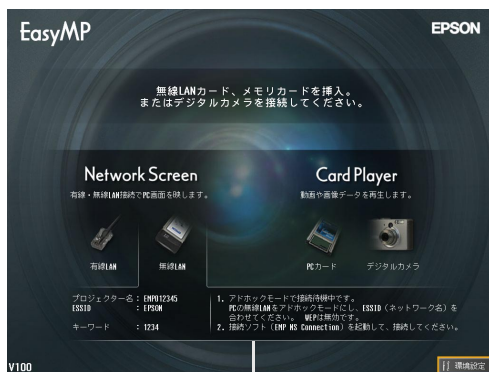


ポイント Windowsの場合、EMP NS Connectionの各画面に表示されている「」をクリックすると、ヘルプが表示され、機能の説明を見ることができます。

プロジェクターを接続待機状態にする

操作

- 1 プロジェクターのカードスロットに LAN カードをセットします。
 p.15
- 2 リモコンの[電源] ボタンを押し、プロジェクターの電源を入れます。
- 3 リモコンの[EasyMP] ボタンを押します。
EasyMP 待機画面が表示されます。
- 4 画面の表示内容が目的の接続方法で接続待機状態になっていることを確認します。



プロジェクターの状態説明が表示されます。
目的の接続方法で待機していることを確認してください。

コンピュータで EMP NS Connection を起動する

以降の説明では、断りのない限りWindowsの画面を載せています。
Macintosh でも同等の画面が表示されます。

操作

- 1 コンピュータ側の LAN の接続準備ができていることを確認します。

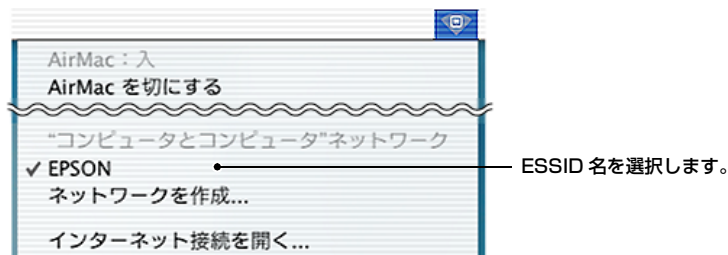
Windows で「簡単接続モード」を行う場合

コンピュータの無線 LAN 設定がアドホックモードになっていますか。

☛「コンピュータの無線 LAN を設定する」p.22

Macintosh で「簡単接続モード(アドホックモード)」を行う場合

コンピュータ画面右上の通信状態を示すアイコンをクリックし、プルダウンメニューの「“コンピュータとコンピュータ”ネットワーク」から、プロジェクターの ESSID 名を選択してください。



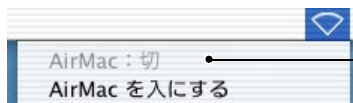
Macintosh で「アクセスポイントモード」を行う場合

コンピュータ画面右上の通信状態を示すアイコンをクリックし、次のようになっていることを確認します。



Macintosh で「有線 LAN モード」を行う場合

必ずコンピュータ画面右上の通信状態を示すアイコンをクリックし、次のように表示されていることを確認してください。「AirMac:切」になっていないと、意図しないネットワークにつながってしまう場合があります。



AirMac:切
無線 LAN には接続しません。



ポイント

切り替え方法は、アイコンをクリックして「Air Mac を入にする」または「Air Mac を切にする」を選択します。

2 Windows の場合

「スタート」-「プログラム」-（または「すべてのプログラム」）-「EPSON Projector」-「EMP NS Connection」の順に選択します。

Macintosh の場合

EMP NS Connection をインストールしたハードディスクボリュームから「アプリケーション」フォルダをダブルクリックし、EMP NS Connection のアイコンをダブルクリックします。

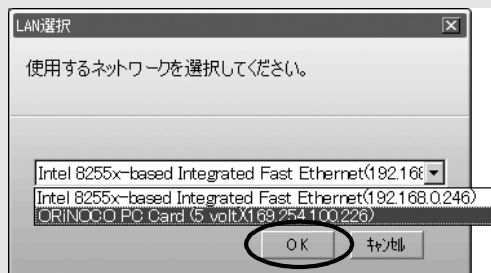
EMP NS Connection が起動します。



ポイント

Windows の場合

- EMP NS Connection をインストール後、初めて起動した場合は、以下の画面が表示されます。接続に使用するネットワークアダプタを選択し、「OK」ボタンをクリックします。



この LAN 選択画面で、使用するネットワークアダプタを選択すると、以降 EMP NS Connection を起動してもこの画面は表示されません。使用するネットワークアダプタを変更したい場合は、接続プロジェクター選択画面(手順 3 の画面)で「拡張機能」ボタンをクリックします。表示された拡張機能画面で「LAN 切替」ボタンをクリックすると、LAN 選択画面が表示されます。

- プロジェクター側のネットワーク設定で、IP アドレス を設定していない場合は、「ネットワークの自動設定を行っています…」というメッセージが表示されることがあります。これは、DHCP サーバと接続できないときに、IP アドレスを決定するまでに時間がかかるためです。メッセージが表示されてから約 70 秒たっても IP アドレスが決定されない場合は、エラーメッセージが表示されます。その場合は、再び手順 2 から操作をやり直してください。
- ESSID 自動検索を使っている場合、「プロジェクターの検出に失敗しました…」というメッセージが表示されることがあります。このメッセージが表示された場合の対処方法については、EMP NS Connection のヘルプをご覧ください。
- PowerPoint 起動中に EMP NS Connection を起動すると、起動時の画面に「PowerPoint を再起動しないと、スライドショーが実行できない場合があります。」と表示されます。このようなときは、PowerPoint を終了し、EMP NS Connection 起動後にもう一度起動してください。
- お使いのコンピュータの無線 LAN ドライバが NDIS 5.1 に対応していない場合は、ESSID 自動検索を有効にして EMP NS Connection を起動すると、「お使いの無線 LAN は ESSID 自動検索に対応していません。通常のプロジェクター検索を行います。」というメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、ESSID 自動検索を無効にしてプロジェクターの検索を行います。接続先のプロジェクターが検出されない場合は、コンピュータ側の ESSID を設定してください。

3 接続先のプロジェクター名をクリックしてチェックマークを付け、「接続」ボタンをクリックします。

プロジェクター名は、EasyMP 待機画面に表示されています。



アイコンの色によって以下のように状態が異なります。
グレー : 未接続
赤または : 他のコンピュータと接続中
割り込み禁止状態のプロジェクターには が付きます。

割り込み禁止状態のプロジェクターは選択できません。

WindowsXP/2000 の場合は、プロジェクター名の後ろに ESSID が表示されます。ESSID 自動検索が解除されているときは ESSID は表示されません。

拡張機能画面が表示されます。

Windows : [LAN 切替] ボタンをクリックすると、ネットワークの変更ができます。

Macintosh : [ネットワーク設定] ボタンをクリックすると、ネットワークの状況確認ができます。



ポイント

- 同じ ESSID が設定された複数のプロジェクターを選択すると、1 台のコンピュータの映像を複数のプロジェクターで投写できます。1 台のコンピュータの映像を同時に投写できるプロジェクターの台数は、最大 4 台までです。
- 接続後に、接続するプロジェクターを追加することはできません。
- 他のコンピュータと接続中のプロジェクターを選択した場合は、自動的に先に接続していたコンピュータを切断し、後から接続したコンピュータの映像を投写します。

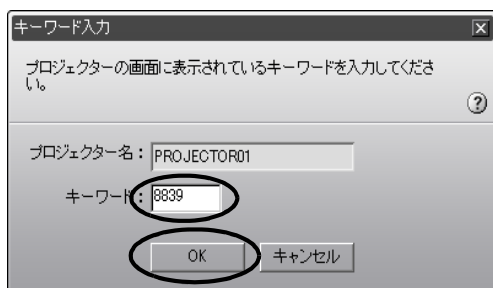
Windows の場合

- 他のコンピュータと接続中のプロジェクターが割り込み禁止状態のときは、接続できません。
- ESSID 自動検索を行っている場合は、利用可能なプロジェクターがすべて検出されますが、異なる ESSID を持つプロジェクターを複数選択して接続することはできません。プロジェクターを 1 台選択すると、選択したプロジェクターとは異なる ESSID を持つプロジェクターはグレー表示されます。グレー表示されたプロジェクターを選択すると、すでに選択していたプロジェクターのチェックがはずれ、新たに選択したプロジェクターにチェックが付きます。

Macintosh の場合

- 使用しているネットワークを確認したい場合は「拡張機能」ボタンをクリックします。表示された拡張機能画面で「ネットワーク設定」ボタンをクリックするとコンピュータのネットワーク設定画面が表示されます。ネットワークの設定を変更する場合は、EMP NS Connection を終了してから行ってください。

- 4** 「プロジェクターキーワード」を「ON」に設定した場合は、プロジェクターの EasyMP 待機画面に表示されているプロジェクターキーワードを入力して「OK」ボタンをクリックします。



- 5** コンピュータとプロジェクターがネットワークを介して接続され、コンピュータの画面がプロジェクターから投写されます。

Windows の場合



Macintosh の場合



コンピュータの画面には、EMP NS Connection のツールバーが表示されます。このツールバーを使って、プロジェクターの操作や設定をしたり、ネットワーク接続を切断したりできます。

ツールバーの使い方については、🖱️『EasyMP 活用ガイド』『ツールバーの使い方』をご覧ください。



ポイント

- プレゼンテーションを行う際にツールバーが不都合になる場合は、ツールバーを最小化することができます。この場合は、リモコンでプロジェクターの操作や設定を行います。☛『取扱説明書』『使い始めるまでの準備』『リモコンでマウスポインタを操作する（ワイヤレスマウス機能）』
- PowerPoint ファイルを投写している場合は、リモコンのページ[+] [◀] ボタンを押して前のスライドに戻す/次のスライドに送ることができます。
- プレゼンターターの交代など、引き続き別のコンピュータから接続する場合は、接続したいコンピュータで EMP NS Connection を起動して接続してください。接続中のコンピュータとの接続が自動的に切断され、後から接続しようとしたコンピュータと接続します。

Windows の場合

- プレゼンテーションモードを ON にすると、PowerPoint のスライドショーだけをプロジェクターに投写することができます。プレゼンテーションモードの ON/OFF は、ツールバーで行います。
- Network Screen でコンピュータの映像を投写するときの対応解像度や表示色などの制限事項については「付録 接続時の制限事項」(☛ p.46)をご覧ください。

ネットワーク接続を切断する

コンピュータとプロジェクターのネットワークを介した接続を切断するには、コンピュータから切断する方法と、プロジェクターで切断する方法の2つがあります。



ポイント

投写しているコンピュータの映像は、本プロジェクターには保存されません。
下記のいずれかの操作で切断を行うと、内部の映像データはすべて破棄されます。

コンピュータから切断する

ツールバーで、「切断」または「終了」のアイコンをクリックします。

Windows の場合



Macintosh の場合



「切断」アイコン	ネットワーク接続の切断のみを行います。
「終了」アイコン	ネットワーク接続を切断して EMP NS Connection を終了します。



ポイント

複数台のプロジェクターと接続しているコンピュータで切断の操作をすると、すべてのプロジェクターとの接続が切断されます。

プロジェクターから切断する

操作

- 1** リモコンの[戻る]ボタンを押します。
終了メニューが表示されます。
- 2** 「終了する」ボタンを選択して、リモコンの[決定]ボタンを押します。
切断するコンピュータの画面に「接続中のプロジェクターはプロジェクター側から切断されました。」と表示されます。

付 録

ここでは、プロジェクターをネットワーク接続で利用するときの制限事項やヒント、EasyMP Software のアンインストールについて説明します。また、本書で使用している用語の解説と索引も記載しています。

接続時の制限事項	46
• 対応解像度	46
• 表示色	47
• 接続台数	47
• その他	48
こんなときには	49
• EasyMP Software をアンインストールしたいときは	50
用語解説	51
索引	54

接続時の制限事項

Network Screen でコンピュータの映像を投写するときは、以下の制限事項があります。ご確認ください。

対応解像度

投写可能なコンピュータの画面解像度は、次のとおりです。次の解像度の場合には、コンピュータに表示されている映像をそのまま投写できます。UXGA を超える解像度のコンピュータとは接続できません。

- VGA(640 × 480)
- SVGA(800 × 600)
- XGA(1024 × 768)
- SXGA(1280 × 960)
- SXGA(1280 × 1024)
- SXGA+(1400 × 1050)
- UXGA(1600 × 1200)

コンピュータの解像度が XGA を超えると、以下のメッセージが表示されます。

Windows の場合

パソコンの画面の領域が XGA(1024 × 768pixel)より大きい場合、画像転送のパフォーマンスが低下します。接続処理を続行しますか？

Macintosh の場合

パソコンのディスプレイの解像度が、XGA(1024 × 768pixel)より大きい場合、またはディスプレイ表示色が 32 ビット以上の場合には画像転送のパフォーマンスが低下します。接続処理を続行しますか？

「はい」ボタンまたは「OK」ボタンをクリックすると接続しますが、パフォーマンスは下がります。

また、以下のメッセージが表示された場合は、コンピュータの解像度を SXGA 以下に設定してから接続してください。

SXGA を超える解像度をサポートしていないプロジェクターがあります。
パソコンの解像度を下げて再接続してください。

1280 × 600 など、縦横比が特殊な画面のコンピュータの場合は、前述の対応解像度 7 種類のうちから横方向の画素数が一致する解像度で投写されます。このとき、縦方向の余白部分は黒く投写されます。

表示色

投写可能なコンピュータの画面の色数は、次のとおりです。

Windows	Macintosh
8 ビットカラー(256 色)	—
16 ビットカラー	約 32000 色(16 ビット)
24 ビットカラー	—
32 ビットカラー	約 1670 万色(32 ビット)

ただし、24 ビット・32 ビットカラーに設定していて XGA を超える場合 (Windows) または約 1670 万色 (Macintosh) に設定している場合は、以下のメッセージが表示されます。

Windows の場合

パソコンの画面の色が 24 ビット以上の場合、画像転送のパフォーマンスが低下します。NS Connection はパフォーマンスの低下を軽減するために 16 ビットに変換して接続します。接続処理を続行しますか？

「はい」ボタンをクリックすると接続しますが、投写画面は 16 ビットカラーになります。

Macintosh の場合

パソコンのディスプレイの解像度が、XGA(1024 × 768pixel) より大きい場合、またはディスプレイ表示色が 32 ビット以上の場合には画面転送のパフォーマンスが低下します。接続処理を続行しますか？

「OK」ボタンをクリックすると接続します。

Macintosh の場合は、表示色を 16 ビットに減色せず 32 ビットのまま画像を転送します。

Keynote など、32 ビット表示のほうがパフォーマンスがよいものもあります。事前にテストを行い、どちらの表示色のパフォーマンスがよいかを確認して表示色を決めてください。

接続台数

1 台のコンピュータに、最大 4 台までのプロジェクターを接続して同時に映像を投写できます。

複数のコンピュータから 1 台のプロジェクターに同時に接続することはできません。

その他

- 無線 LAN の通信速度が低速の場合、接続しても切断されやすい状態となり、予期しないときに切断されることがあります。
- 音声は伝送されません。
- 動画を再生する場合、コンピュータ上で再生した場合と比べて、スムーズに再生されません。

Windows の場合

- DirectX の一部の機能を使っているアプリケーションは、正しく表示できない場合があります。
- MS-DOS プロンプトの全画面表示は投写できません。

Macintosh の場合

- Mac OS X 10.2.x の仕様上の制限により、全画面表示で投写できないことがあります。例えば、Keynote(プレゼンテーションソフトウェア)でスライドショーの再生を実行すると、画面が正しく投写されません。
また、Mac OS 10.3.x では、10.2.x でできなかった Keynote などの全画面表示の投写が可能ですが、OS の仕様上の制限により、再現性に差があります。
- 動画再生中に EMP NS Connection を起動したり、表示画面の解像度や色数の変更を行うと、投写映像が止まります。その場合は、動画再生ウィンドウを移動する、または最小化し元に戻す等の操作を行ってください。
- PowerPoint 2004 for Mac は、従来の PowerPoint X for Mac からスライドショーの描画方式が大きく変わっています。そのため、EMP NS Connection を使って同一のスライドショーの投写を行った場合、従来の PowerPoint よりも PowerPoint 2004 の方が再現性が悪くなる場合があります。

こんなときには

- **接続したいプロジェクターが表示されないときは**
☛『EasyMP 活用ガイド』『ネットワーク経由でコンピュータの映像を投写する(Network Screen)』『接続したいプロジェクターが表示されないときは』をご覧ください。
- **接続時に解像度などのパソコンの画面に関するメッセージが表示されたときは**
☛「接続時の制限事項」p.46 をご覧ください。
- **複数のプロジェクターのネットワーク設定をまとめて行いたいときは**
エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」(<http://www.i-love-epson.co.jp/>)で提供している「EMP NetworkManager」を使うと、メモリカードにネットワークの設定用ファイルを登録することができます。このメモリカードから設定用ファイルを読み込み、簡単に複数のプロジェクターのネットワーク設定を行えます。
- **EasyMP Software をアンインストールしたいときは**
次のページの「EasyMP Software をアンインストールしたいときは」の操作を行ってください。
- **Windows をお使いの場合、ESSID 自動検索を無効にしたいときは**
☛『EasyMP活用ガイド』『無線LANのセキュリティ対策』『ESSID自動検索を無効にする』をご覧ください。



ポイント

上記以外にも『取扱説明書』『困ったときに』に想定されるトラブルとその対処方法の説明がありますのでご覧ください。

EasyMP Software をアンインストールしたいときは

Windows の場合

「マイコンピュータ」→「コントロールパネル」→「アプリケーションの追加と削除」で不要になったソフトウェアを選択して「追加と削除」(Windows XP の場合は「変更と削除」)をクリックします。



ポイント

- 「EMP NS Connection」、「EMP SlideMaker2」、「EMP Monitor」の3つのファイルを1回の操作でアンインストールすることはできません。1つずつアンインストールしてください。
- 「EMP SlideMaker2」をアンインストールしても EMP SlideMaker2 フォルダは残ります。必要なシナリオファイルが保存されていないか確認のうえ、不要な場合は削除してください。

Macintosh の場合

インストーラを起動します。

下の画面が表示されるまで画面の指示に従って進めてください。



1 「アンインストール」を選択します。

2 「アンインストール」ボタンをクリックします。



ポイント

EMP NS Connection (Ver.1.00) をインストールしている場合は、下記の方法でアンインストールを行ってください。

1. EMP NS Connection をインストールしたハードディスクボリュームからアプリケーションを選択します。
2. EMP NS Connection のアイコンを選択し、「ごみ箱」にドラッグします。

用語解説

本書で使用している用語で、本文中に説明がなかったもの、あるいは難しいものを簡単に説明します。詳細については市販の書籍などを利用してください。

DHCP	Dynamic Host Configuration Protocol の略で、ネットワークに接続する機器に、IP アドレスを自動的に割り当てるプロトコルのことです。
ESSID	ESS とは Extended Service Set (拡張サービスセット) の略です。ESSID は、無線 LAN の環境で相手と接続するための識別データです。ESSID が一致している機器どうしで無線通信できます。 Macintosh では、“コンピュータとコンピュータ” ネットワークで表示されるネットワーク名に ESSID を使用します。
IP アドレス	ネットワークに接続されたコンピュータを認識するための数字のことです。
MAC アドレス	MAC とは Media Access Control の略です。MAC アドレスはネットワークカードごとの固有の ID 番号です。すべてのネットワークカードは 1 枚ずつ固有の番号が割り当てられており、これをもとにカード間のデータの送受信が行われます。
NDIS	Network Driver Interface Specification の略で、Microsoft 社などによって決められた、無線 LAN カードなどのネットワークカードの機能を利用するためのネットワークドライバの標準仕様です。OS やアプリケーションソフトとドライバが通信するための手順や、ドライバとネットワークカードが通信するための手順などを規定しています。
SNMP	Simple Network Management Protocol の略で、TCP/IP ネットワークにおいて、ルータ、コンピュータ、端末など、ネットワークに接続された通信機器をネットワーク経由で監視・制御するためのプロトコルです。
WEP	Wired Equivalent Privacy の略で、通信中のデータを暗号化するセキュリティ方法です。 WEP で暗号キーを登録しておくと同じ暗号キーが登録されている機器どうしでないとデータの通信が行えなくなります。
アドホックモード	無線 LAN の接続方式の 1 つで、アクセスポイントを介さずに無線 LAN クライアント同士で通信する方式です。
ゲートウェイ	サブネットマスクによって分割したネットワーク(サブネット)を超えて通信するためのサーバ(ルータ)のことです。

サブネットマスク	IP アドレスから、分割したネットワーク(サブネット)のネットワークアドレスに使用するビット数を定義する数値のことです。
チャンネル	同じ周波数を使用して無線通信する機器が多いと、通信速度が低下します。その場合、無線 LAN ネットワークごとに無線チャンネルを設定することで、他の無線 LAN の干渉を避けることができます。

MEMO

付
録



索引

アルファベット

AirMac	37
DHCP	30
EasyMP Software CD-ROM	11,13
EasyMP 待機画面	21,31
EMP Monitor	11
EMP NS Connection	11,36
EMP SlideMaker2	11
ESSID	20,29
ESSID 自動検索	24,39
IP アドレス	30
Keynote	48
LAN カードのセット	15
MAC アドレス	20,30
NDIS5.1	38
PowerPoint	38
SNMP 機能	32
SXGA	46
WEB コントロール用パスワード	20,29
WEP キー	22
Wi-Fi	8
XGA	46

アイウエオ

ア

アクセスポイント	8
アクセスポイントモード	26
アドホックモード	22
アンインストール	50
インストール	11,13
音声	48

カ

カードスロット	15
画面解像度	17,27
環境設定	18
簡単接続モード	17
基本設定	18
ゲートウェイ	30

サ

サブネットマスク	30
使用周波数	8
セキュリティ	9,31
接続	35
接続待機状態	35
接続台数	47
切断	42

タ

対応解像度	46
電磁妨害	8

ナ

ネットワークアダプタ	38
ネットワークポート設定	34
ネットワーク名	20,29

ハ

表示色	47
プロジェクターキーワード	20,30
プロジェクター名	20,29
ポートの設定	33

マ

無線 LAN カード	8
メール通知機能	32
文字や数値の入力方法	20

ヤ

有線 LAN モード	26
------------------	----

ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者(裏表紙参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (6) エプソン純正品、およびエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
- (7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国の規格に適合した電源ケーブルを現地にてお求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としています。この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。

電源高調波について

この装置は、JIS C 61000-3-2「高調波電流発生限度値」に適合しております。

商標について

IBM、DOS/V、XGA は、International Business Machines Corp. の商標または登録商標です。

Macintosh、Mac、iMac は、Apple Computer Inc. の登録商標です。

Windows、Windows NT、VGA は米国マイクロソフト社の商標または登録商標です。

ドルビーはドルビーラボラトリーズの商標です。

Cisco Systems は米国その他の国におけるシスコシステムズ株式会社の登録商標です。

Pixelworks、DNX は Pixelworks 社の商標です。

EasyMP はセイコーエプソン株式会社の商標です。

Portions of this software are based in part on the work of the Independent JPEG Group.

Portions Copyright © 2003 Instant802 Networks Inc. All rights reserved.

なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

本製品は、オープンソースソフトウェアを利用しております。



この取扱説明書は100%再生紙を使用しています。



環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」<http://www.i-love-epson.co.jp>

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を掲載したエプソンのホームページです。

エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご利用ください。
インターネットでFAQ <http://www.i-love-epson.co.jp/faq/>

●プロジェクトインフォメーションセンター 製品の操作方法・お取り扱い等、技術的な問い合わせに電話でお答えします。

0570-004110 【受付時間】月～金曜日9:00～20:00 土曜日10:00～17:00（祝日・弊社指定休日を除く）

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ株式の電話サービスの名称です。

*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご連絡ください。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(0263) 54-5800までお電話ください。

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約及び、保証期間内の代替機お届けサービスのお申し込み先

0570-004141 【受付時間】9:00～17:30 月～金曜日（祝日・弊社指定休日を除く）

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ株式の電話サービスの名称です。

*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご連絡ください。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(042) 582-6888までお電話ください。

●修理品送付・持ち込み依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠 点 名	所 在 地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス(株)	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日 9:00～17:30（祝日・弊社指定休日を除く）

*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。

*修理について詳しくは、エプソンサービス(株)ホームページ<http://www.epson-service.co.jp>でご確認ください。

●ドットtoドットサービス（修理品有償ピックアップサービス）に関するお問い合わせ先

ドットtoドットサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りに伺い、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。*梱包は業者が行います。

ドットtoドットサービス受付電話 **0570-090-090** 【受付時間】月～金曜日9:00～17:30（祝日・弊社指定休日を除く）

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ株式の電話サービスの名称です。

*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご連絡ください。

*携帯電話・PHS端末・CATVからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、下記の電話番号へお問い合わせください。

受付拠点	引き取り地域	TEL	受付拠点	引き取り地域	TEL
札幌修理センター	北海道全域	011-219-2886	福岡修理センター	中四国・九州全域	092-622-8922
松本修理センター	本州（中国地方を除く）	0263-86-9995	沖縄修理センター	沖縄本島全域	098-852-1420

【受付時間】月曜日～金曜日9:00～17:30（祝日・弊社指定休日を除く）※松本修理センターは365日受付可。

*平日の17:30～20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00～20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で行なわれます。*ドットtoドットサービスについて詳しくは、エプソンサービス(株)ホームページ<http://www.epson-service.co.jp>でご確認ください。

●ショールーム *詳細はホームページでもご確認ください。 <http://www.i-love-epson.co.jp/square/>

エプソンスクエア新宿 〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F

【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日・弊社指定休日を除く）

エプソンスクエア御堂筋 〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F

【開館時間】月曜日～金曜日 9:30～17:30（祝日・弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！ <http://myepson.jp/> ▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●消耗品の購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社（ホームページアドレス <http://epson-supply.jp> またはフリーダイヤル0120-251528）で買い求めください。

エプソン販売 株式会社

〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社

〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5